

事業報告

平成29年度 教育事業

タイニーキャンプ①

平成29年6月24日(土)～25日(日)

【対象】小学生(低学年)

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

～趣旨～

小学校低学年の子供たちが、親元を離れて共同生活や自然体験活動を行うことを通して自分に自信をつけ、協調性を育むきっかけづくりとする。

～主催・後援団体～

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

後援：伊那市教育委員会

～活動日程～

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1 日 目	10:30～ 受付 11:20～ 開会式					開 会 式	昼 食	活 動 準 備	”自然の中で遊ぼう” 「ぼうけんの森で 動物になって遊ぼ う」			夕 食	夕 食	入 浴	絵 本 読 み 聞 かせ	就 寝 準 備	就 寝
2 日 目	起 床	朝 の つ ど い	朝 食	清 掃	”みんなで作ろう！ みんなで食べよう！” 「すいとん作り」 「フルーツポンチ作り」			閉 会 式	13:20～ 閉会式 13:50 解散								

～参加者～

小学2年生 計47名（長野県：46名，東京都：1名）

～活動トピックス～

活動Ⅰ 「動物になって遊ぼう」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

ぼうけんの森で、動物になりきって身体を思いっきり動かした。懸垂力・支持力・跳躍力の向上を狙った各種プログラムに皆全力で取り組んでいた。

運動後は周辺の林を探検しながら皆で自然散策を楽しんだ。



活動Ⅱ 「絵本の読み聞かせ」 講師：ボランティア



各活動班毎、担当ボランティアが絵本の読み聞かせを行った。子供達が好きな絵本を数冊選び、各宿泊棟で静かに読み聞かせた。子供達は皆目を輝かせながら聞き入っていた。

活動Ⅲ 野外調理「すいとん・フルーツポンチ作り」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員、ボランティア

野外炊飯棟で「すいとん」と「フルーツポンチ」を作った。子供達は野菜の皮をむいたり、小麦粉をこねたり、缶切りを使ったり、火起こしの補助をしたりしながら一生懸命活動に取り組んだ。



～参加者の声～

《参加児童》

- ・動物になって遊んだのが本当に楽しかった。またタイニーキャンプに参加したい。
- ・すいとんとフルーツポンチがおいしかった。ボランティアのお兄さんとお姉さんがとっても楽しかった。またキャンプに来て、また会いたい。

《保護者》

- ・帰宅後しばらくボランティアのお兄さんお姉さんの絵を描きながら「会いたい」と泣いているほどだった。とっても良くしていただいたようでありがたかった。
- ・初めて親から離れ、一人で宿泊体験を行うということで心配していたが、全く不安に思う隙が無いほど楽しんできた。大変貴重な体験ができて本当にありがたいと感じた。
- ・友だちに手伝ってもらったり、自分が友だちを手伝ったり、知らない友だちと仲良くなったりと本当に成長できた2日間だった。とてもキラキラした顔で帰宅し、親としてとても嬉しく感じた。本当に有意義な体験をさせていただいた。

～成果と課題～

- 当事業は大変知名度が高く、参加を熱望する方が大勢おられる。今後もできるだけ大勢の子ども達に参加してもらえよう、内容を工夫しながら事業の充実を図っていきたい。
- 昨年度の反省を踏まえ、今回は参加児童数を47名に抑えたが、自炊棟での野外調理も無理なく実施でき、事業自体を円滑に運営することができた。今後も45名程度を基準に、各回の参加児童数を設定していく方向が良いと考える。
- 例年実施してきた「抽選」による参加申し込みを変更し、本年度は「webとFAXを用いた先着順」としたが、保護者の皆様方から申し込み方法改善に関するご意見が多数寄せられた。競争率の高い当事業に於いて、公正を期すためにはやはり「抽選」方式へ戻す方向が良いと考える。